

# NEWSLETTER

No.16  
(2001.12)

Research Center for Coastal Lagoon Environments, Shimane University

島根大学汽水域研究センター

690-8504 松江市西川津町1060

TEL/FAX (0852-32-6099)

<http://www.kisuiiki.shimane-u.ac.jp/>

E-mail: [kisui@soc.shimane-u.ac.jp](mailto:kisui@soc.shimane-u.ac.jp)

—新刊紹介—

## 『汽水域の科学 中海・宍道湖を例として』 刊行！！

汽水域研究センターでは、1996(平成8)年度より総合科目として「汽水域の科学」をおこなってきました。そして1999年度には学外者もふくむ13人の講師陣による完全なオムニバス方式の授業となり、多角的に汽水域を取り巻く問題を掘り下げれるように体制も整ってきました。今回、これら13人の「汽水域の科学」講師グループにより、14章からなる教科書が、たたら書房より刊行の運びとなりました。

各章は、それぞれの講師の担当する講義内容に相当し、講義の内容を体系だてた構成となっています。次年度以降、総合科目「汽水域の科学」の受講者に有効に活用していただければと思います。また、こうした教科書としての側面とともに、汽水域をめぐる多様な学問分野の研究成果が結集されており、汽水域および関連する分野を研究する方々にとっても有用な書となっているかと思います。汽水域研究センターでは、専任スタッフは現在3名ですが、学内および近隣の研究機関に汽水域を研究対象とした方々がこれだけいらっしゃるから、こうした講義、教科書の作製ができたものと感謝するとともに、心強い限りです。ぜひ一読いただければと思います。

### 〈本書の構成〉

#### まえがき

- 1章 汽水域をつくる地形とその生い立ち (高安克己)
- 2章 汽水域の物理特性—水塊の動き (石飛 裕)
- 3章 汽水域の水質特性 (清家 泰)
- 4章 汽水域の底質特性—“ヘドロ”と湖底環境 (三瓶良和)
- 5章 宍道湖・中海水系の藻類 (大谷修司)
- 6章 汽水域の水生植物 (國井秀伸)
- 7章 汽水域のベントス特性 (山口啓子)
- 8章 ヘドロの中の小さな宝石：有孔虫 (野村律夫)
- 9章 ヤマトシジミが宍道湖の窒素循環に果たす役割 (中村幹夫)
- 10章 汽水域と人間の利用の歴史 (竹広文明)
- 11章 淡水化された汽水湖—霞ヶ浦— (相崎守弘)
- 12章 汽水域の利用と保全 (徳岡隆夫)
- 13章 汽水域の「宿命」と「個性」 (高安克己)
- 14章 汽水域の研究法—何をどのように調べるのか？ (瀬戸浩二)
- 付録：宍道湖・中海略史、日本の汽水湖・海跡湖
- 用語索引



B5版 183頁, カラー図版 2頁  
定価: 本体 2,500円 税